



広げようテニスの輪！
楽しもうテニスを！

厚木市テニス協会 40周年記念誌

2016

発刊にあたって

厚木市テニス協会は2017年3月に創立40周年を迎えました。協会が創立以来、大切にしてきた「会員の方による会員のための参加型の協会」として、その伝統を継承してまいりました。

ここまでの協会の歩みを振り返って見ますと、この40年の間に登録されている団体数は7団体から29団体へ、また会員数も1,800名を超える方が当協会に登録されています。設立当初から会員の皆様の積極的なご意見やご提案により、足を止める事無く、成長して参りました。これもひとえに、協会を支えて頂いた加盟団体の皆様、理事として協会の運営にご協力して頂いた皆様、そして、外部団体とのインターフェースとして、ご尽力頂いた役員の皆様、多くの方々のご協力により、今日の協会が存続していることを心より感謝申し上げます。

さて、協会では40周年の記念事業として、この10年の協会および、登録団体の皆様の足跡を記録として残し、次の世代へ協会の歴史を引き継いで頂くために、記念誌を刊行することとしました。

本誌を刊行するにあたっては、企画段階から「実際に読まれる記念誌を作りたい」ということを念頭において、形骸化しない様な内容を検討してまいりました。

其の一つが、協会に登録されている加盟団体より団体の紹介を寄稿して頂きました。登録されている全団体の紹介が記載されており、各団体から活動や現状が情報発信されています。

それから、ITツールを活用した大会の企画、準備そして、ホームページでの情報発信など、大会運営のノウハウを掲載しました。当協会の大会がどのように企画され、どのようなツールを使い運営されているのかが分かると思います。

もう一つ、本誌の配布についても時代に即したメディアを使用しました。日本での商用インターネットの利用が一般家庭に普及し、ちょうど10年前にスマートフォン時代を向かえますと、スマートフォンでも場所と時間を超越して、情報を入手出来る様に変化しました。

「いつでも、どこでも、だれでも」見たくなった時にどこでも見られるようにWebサイトに電子版の記念誌を刊行しました。それ以外にもプロコーチによる指導者養成教室や記念イベントのキッズ・ジュニア向けのPlay&Stateの様子が記載されていますので、是非、多くの方に読んで頂きたいと思います。

最後になりますが、40周年記念誌の刊行にあたり、小林厚木市長はじめ、神奈川県テニス協会会長、青山修子プロなど、多くの方々に寄稿して頂きました。この場をお借りして、御礼申し上げます。また、記念誌の企画、編集に携わって頂いた準備委員会の方々、実行委員会の方々そして、役員・理事の方々に心より感謝を申し上げます。

本誌を手にした皆様が「テニスの楽しさ」と「テニスの輪」を更に広げるツールとして、手助けにならんことを期待し、これからの10年に向けて、新たな思い出を作って頂けることを切望し、巻頭の辞とします。

厚木市テニス協会
理事長 迫田 薫

目次

発刊にあたって ごあいさつ	厚木市テニス協会理事長 迫田 薫 厚木市テニス協会会長 山下 昭男	3
祝辞		
厚木市長	小林 常良	4
神奈川県テニス協会会長	山田 悠一	5
厚木市体育協会会長	曾田 高治	6
厚木市テニス協会元会長	立花 秀夫	7
厚木市テニス協会顧問	松本 憲明	8
厚木市テニス協会顧問	渡部 克典	9
寄稿文		
テニスと歩んだ10年間	青山 修子(プロテニスプレーヤー)	10
テニスとは何か?	成田 正彦(富士通厚木)	11
私のテニス人生	高橋 真波(HKF)	12
10年間のテニス人生を振り返って	石嶋 紘一(チェリー)	13
テニス人生を振り返って「あれから40年」	藤本 順三(森の里テニスクラブ)	14
For the 40th anniversary celebration from UK	今野 秀樹(リコー)	15
団体紹介		16~44
40周年記念事業		
Play&Stay 親子キッズテニス教室		45~48
記念イベント		49~53
式典・パーティー		54~58
編集後記		59



ご挨拶

厚木市テニス協会
会長 山下 昭男

厚木市テニス協会が昭和52年に厚木市及び周辺地区の7団体で“厚木市庭球協会”として設立され、本年度3月をもちまして創立40周年を迎える事が出来ましたこと。そして記念事業の一環として40周年記念誌を発刊出来ますことは、加盟団体の皆様と共に喜び申し上げたいと思います。

これも歴代会長を初め、役員・理事並びに加盟団体を支えて戴いた関係者のご努力の賜物であると同時に厚木市スポーツ政策課、厚木市体育協会を初めとする行政当局のご指導と共に神奈川県テニス協会、近隣地区テニス協会のご援助の賜物であると深く感謝し、この誌面をお借りして厚く御礼申し上げます。

平成28年11月12日に開催されました40周年記念式典には小林常良様(厚木市長)山田悠一様(神奈川県テニス協会会長)のご祝辞を賜りましたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。

また同日に開催されました記念イベントには多くの市民の方々の参加が有り、大変盛り上がり無事終了出来ましたこと。40周年記念イベント・式典に1年間の準備から終了迄を支えて戴いた加盟団体の皆様、役員・理事各位並びにレッスンにご協力戴きましたリコー日本リーグ選手の皆様に御礼申し上げます。

協会設立当初の厚木市内のテニスコートは整備が遅れており、現在の南毛利コート8面のみでありましたので、競技大会を開催するには十分ではなかったため、厚木国際テニスクラブのご協力を戴き、厚木庭球トーナメント大会(現厚木市民トーナメント大会)、厚木庭球選手権大会(現厚木市テニス選手権大会)及び春秋の事業所対抗が当協会設立初年度から開催出来ていたことは協会創立時関係者のテニスへの思いが感じられ素晴らしいことだったと思います。その後荻野コート・若宮コートの開場があり、現在では厚木庭球場、猿ヶ島コートを含め、競技大会用として使用出来るコートは27面になり、競技大会も厚木市クラブ対抗戦、厚木市団体チャンピオン大会の団体戦や厚木市ジュニア選手権大会、厚木市テニス選抜大会と充実した内容になって来ています。これらの多種の競技大会が問題なく開催され、且つ素晴らしい運営が出来ていることについては、協会理事だけで行うのではなく、加盟団体の会員皆様の参加で行う県内では珍しい当協会独特のシステムが定着出来たことにあると思われまます。また協会理事においても加盟団体から必ず参加して戴くシステムが定着して来たからと感謝しております。

この間の10年では、錦織圭選手の全米オープン準優勝、リオオリンピックでの96年ぶりの銅メダル獲得やHLTC所属の青山修子選手の2013ウインブルドンダブルスベスト4の活躍があり、多くの方々にテニスへの興味を持って戴けるようになり、底辺拡大への機運が高まって来ているところであり、次の50周年に向けこれからの10年を、節目の50周年に繋げる期間とし、「広げようテニスの輪! 楽しもうテニスを!」のスローガンのもと、テニスを通して、幅広い年代の方々と親交を深め、技術や体力に応じた楽しみ方で充実したテニスライフを送って戴けるよう、これからも活動を継続して参ります。

皆様方の尚一層のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます、記念誌発刊のご挨拶とさせていただきます。

厚木市テニス協会創立40周年祝辞



厚木市長 小林 幸良

厚木市テニス協会の創立40周年を心からお祝いとお喜びを申し上げます。この記念すべき節目の年を迎えられましたのも、山下昭男会長をはじめ歴代役員の皆様のたゆまぬ御努力の賜物であると、心から敬意を表します。

貴協会は昭和52年3月、テニスに情熱を燃やす7団体の皆様が「厚木庭球協会」として結成されました。翌年に厚木市体育協会に加盟すると、協会の皆様の基礎づくりやレベルアップに積極的に励まれ、会員相互の親睦と調和を図りながら発展されてまいりました。現在、29団体・1800人もの皆様が、テニスを通じた体力づくり、仲間づくり、生きがいを楽しんでいらっしゃいますことは大変に素晴らしく、心からお喜び申し上げます。

今夏に開催されたりオデジャネイロオリンピックの男子テニスでは、錦織圭選手が日本人として96年ぶりとなるメダルを獲得しました。2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、テニスをはじめとしたスポーツ全般へ関心が高まる中、本市ではスポーツに関する環境の充実、愛好者の拡大と競技力の向上を目指す「あつぎスポーツアカデミー」事業を推進しています。また、日本体育大学とも連携してトップアスリートの育成を目指すとともに、市民一人一人がより一層の健康づくり、体力づくりに励んでいけるまちを目指しております。貴協会の皆様におかれましても、これまで以上に競技を楽しみ、錦織選手のような世界の舞台で戦うプレーヤーの育成に励んでいただきますようお願い申し上げます。

結びに、創立40周年を契機としたテニスの魅力のますますの普及と地域社会へさらなる御貢献を御期待いたしますとともに、貴協会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

創立40周年を祝して



神奈川県テニス協会
会長 山田 悠一

厚木市テニス協会は昭和52年3月に創立されて以来、めでたく40周年を迎えられ、ますますご盛況にてご活躍されておられますこと、誠におめでとうございます。歴代の会長様をはじめ役員の皆様方の長年に亘るご尽力にあらためて敬意を表するとともに心からお祝いを申し上げます。

厚木市庭球協会は発足当時には、県央地区の周辺にはテニス協会が少なかったため、近隣の企業や大学を中心とした7団体を中心に発足されたと同様です。

その後、初代会長様をはじめ役員の皆様のご尽力により、大会運営やテニス教室の運営等を行いテニスの普及、発展に貢献されてきました。

近年では加盟団体数29団体、約1,900名を超えるテニスプレイヤーを擁する「厚木市テニス協会」として各種大会の運営、ジュニア、レディース、シニアそれぞれを対象としたテニス教室の主催等によりテニスの普及、技術力向上に継続してご尽力されて、また、県央地区の中核として早くから近隣他都市を含めた地域発展の一翼を担い指導的役割を果たしてこられました。

また、厚木市のみならず、神奈川県テニス協会の加盟団体の一員としてもそのご活躍は顕著であり、各種行事にも積極的にご協力を頂き神奈川県ゆめ国体の時に整備された南毛利テニスコートの会場提供をして頂き、神奈川県選手権大会の開催や、全日本都市対抗県予選大会の会場としても活用させていただくとともに、全国車椅子テニス選手権大会や関東オープン等の上位大会の誘致等にもご尽力されてこられ県テニス協会の普及・発展にも多大な貢献をされておられますことを、この場をお借りし重ねて厚く御礼申し上げます。

ご承知のとおり、テニス界も厳しい状況のなかではありますが、日本のテニスのよりよき将来に向け、県テニス協会としても出来る限りの協力・応援体制をとって行くべきと考えておりますので、貴協会はじめ関係各位におかれましても、従来にも増したご指導ご支援を賜りたく、よろしくお願い致します。

終わりに、厚木市テニス協会ならびに役員の皆様方のますますのご発展、ご活躍を祈念し、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

厚木市テニス協会創立40周年を祝して



厚木市教育委員会教育長
公益財団法人厚木市体育協会
会長 曾田 高治

厚木市テニス協会が創立40周年を迎えられましたことに対しまして、心からお祝いを申し上げます。

この記念すべき節目の年を迎えられましたのも、山下昭男会長を始め、歴代役員の皆様方のたゆまぬ御努力の賜であると、心から敬意を表するものでございます。

厚木市テニス協会は、昭和52年3月にテニスにかける情熱をもった7団体の方々で結成され、厚木市庭球協会として産声をあげられました。その後、会員相互の調和と御尽力により、今では会員千六百人を擁する組織として、各種大会をはじめ、普及教室、ジュニア育成、指導者講習会の企画・運営、車いすテニス競技大会の支援など、事業内容の充実、拡大に努めてこられました。また、様々な活動を通して地域に御貢献いただいておりますことに、この場をお借りし厚くお礼申し上げます。

厚木市体育協会といたしましても、「スポーツで心がふれあう都市^{まち}“あつぎ”をつくろう」をスローガンに、市民一人一人がスポーツの持つ素晴らしさを体現し、心豊かな社会を形成できるよう、各種スポーツ事業を推進してまいります。

これからも、貴協会の幅広い活動により、厚木市のスポーツ活動が盛んになりますことを御期待いたしますとともに、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この創立40周年を契機といたしまして、厚木市テニス協会が、ますます発展されますよう御祈念申し上げ、お祝いのことばといたします。



祝辞

立花 秀夫

40周年おめでとうございます。厚木市テニス協会（以下、当協会）の足跡は沿革や他の祝辞で多く述べられることと思います。ここでは私自身の当協会の活動および協会を通じて得たたくさんの友人との思い出、そして協会所属の皆さんへの期待を記したい。

わたしのテニス歴は大学時代がはじまりです。そのころはまだ同好会がなく、体育会のテニス部に入ったものの2年の夏合宿で挫折。しかしながらテニスの魅力には逆らえず、社会人になって数年、勤務先の近くに民間のテニスクラブができたのがきっかけでした。いまでも協会の一員である厚木国際テニスクラブです。オープン記念には全盛期の坂井利郎、平井健一が模範試合を見せてくれ、ラケットカバーにサインを貰ったことを鮮明に覚えています。そこから急速にテニスにのめりこんでいくことになりました。

厚木庭球協会（当協会発足時の名称）の生みの親である加藤寿夫プロから諸事を学びながら、協会設立時から雑用係として参画しました。初めは大会の企画、コートの手配から、開催案内、申込み受付、ドロー作成（もちろん手書き）、印刷、発送、当日の運営、等々。それも選手として出場しながらですから、今思えばまるでスーパーマンのようです。もちろん私一人でできたわけではなく、歴代の役員をはじめ、各所属団体の先輩たち、たくさんの友人たちの協力があってこそだと思えます。それらの方々の中には後日、近隣協会の役員として活躍した仲間も多くおり、いまでも交流が続いています。

辛い思いもありました。近隣自治体ごとにテニス協会が設立され、また厚木市協会への移行にともなう設立時の仲間たちとの別れ、様々な摩擦への対応、年間3つの大きな大会を2大会へ削減など。しかし、それらを当協会の組織力で克服して、今があるのです。

わたしが役員活動をとおして得たものはたくさんありますが、その一つは他のスポーツ団体および行政とのつながりです。厚木市体育協会では当協会からの代表として通算8年間理事を務め、その体育協会からの派遣で社会教育委員会委員に。そして市の総合審議会委員へと繋がっていきました。おかげさまで違った分野、様々な立場の方々との交流によって、広い視野から足元を見ることを教えていただきました。感謝です。

テニスは幅の広い年齢層ができる生涯スポーツであり、手軽に楽しむ庶民のスポーツとして愛されていますが、ハンディキャップを持つ人からアスリートまでと、奥の深いスポーツでもあります。またボールを打ち合う、ラリーをつなぎ合うことで、人と人とのつながりも生まれるという側面も持っています。

最後になりますが、当協会が一競技団体としての役割を果たすだけでなく、所属の皆さんが個人およびグループとして、テニス以外にも様々に展開されることを期待して祝辞とさせていただきます。

祝辞



厚木市テニス協会顧問
松本憲明

厚木市テニス協会の創立 40 周年おめでとうございます。創立当初より参画したメンバーの一人として、心よりお祝い申し上げます。厚木市テニス協会は、昭和 52（1977）年の春に近隣の企業、大学、テニスクラブ等の 7 団体でスタートしました。夕刻に近くのレストランに役員・理事が集まって、試合の運営方法やドロー決め、テニス教室の開催等、夜遅くまで話し合ったことが昨日のこのように思い出されます。テニスを通じて多くの交友関係が得られたのも、本協会のおかげだと思っています。

テニスというスポーツは、現在 世界の競技人口が約 1 億 1 千万人で第 4 位のメジャースポーツと言われていますが、日本ではまだまだ発展の余地があります。

2014 年度の日本テニス協会調査報告では、年に 1 回以上テニスをする 10 歳以上の愛好者は推計 399 万人と人口比まだ 3% の状況です。ただ 2014 年のスポーツマーケティング調査によると、最も好きなスポーツとしては野球・サッカーに次いで第 3 位に上昇しました。また子供が定期的に行っているスポーツとして、水泳・サッカーに続いて、テニスと同じく第 3 位に上昇しています。このテニスブームの中で、それぞれの人に様々なテニスへの取り組み方があると思います。各自のニーズをくみ取りながら企画・運営を進めるのは大変だと思いますが、テニスというスポーツの楽しさをより多くの人に伝える為にも、これからも様々なイベントの企画を期待しています。

全員参画をモットーとする厚木市テニス協会の伝統を活かして、今後とも役員・理事並びに加盟団体の皆さんが力を併せ益々発展することをお祈りして、お祝いの言葉とさせていただきます。

創立40周年を祝し、次の10年に向けての期待について



厚木市テニス協会 顧問
渡部克典

厚木市テニス協会が本年を以って創立40周年を迎えられたことは、誠におめでたい限りで心よりお祝い申し上げますと共に同慶に堪えない次第です。

当協会は昭和52年3月に7団体で創立されました。場所は異なりますが、偶然にも私はこの年に大学のテニス部に入り、テニスを始めました。当協会暦と私のテニス暦が同じですので、更に感慨深いものがあります。その私が厚木の地に移り、当協会の理事として初めて参画したのは昭和61年4月で、当協会としては、丁度、創立10周年の年でありました。協会として初めての周年行事であり、記念イベント、式典・祝賀パーティーなどの準備、実施において、役員・理事全員で大変苦勞致したのを覚えております。周年行事の費用確保のために、協会の関連各社などからの協賛金の協力依頼回りをして金銭の工面までしたことは懐かしい思い出となっております。

この10周年を契機に、当協会は、20周年、30周年においても、その節目の年において10年後に向けて協会として向かうべき方向性を共に考え、ベクトル合わせをしてきています。協会役員・理事だけでなく、加盟団体の方々を含め各種活動の意義、内容等も共有しながら進めてきています。また、10周年時の周年行事の反省点を踏まえ、20周年時からは、前年度に準備委員会を発足させるなど、計画的に進めてきています。また、加盟団体の方々にも各活動に準備段階から参画して頂き、「共に作り上げる活動」をモットーに進めてきています。このような点は、当協会としてとても良いところだと思っております。

また、各加盟団体による各大会の運営への参画、厚木ランキングポイント制の導入、各大会決勝における公認審判員をSCUへ配置するなど当協会独自の取り組みをしてきています。これらの活動は、今後の更なる改善も踏まえ、是非、継続的に実施して頂きたいと思っております。

普及・強化という点でも指導部のリードにより各種テニス教室、指導者育成教室等で、キッズ、ジュニア、一般、ベテランまで幅広く、普及、レベル向上にも取り組んできています。ジュニア大会において、これまで中々実現できなかった年齢別の種目での実施が昨年に行われました。今後、多くのジュニア選手の参画できる大会につなげていって頂き、多くのジュニア選手の育成、成長につなげていって頂きたいと思っております。

私は、昭和61年に当協会に理事として参画し、前年に会長職の任期を迎え、当協会在籍30年目となることを契機に当協会の会長職を退任いたしました。

今後は、この40周年の節目を機会に、山下会長、迫田理事長を筆頭に、新理事15名の方々も加わった新たな体制で、10年後である50周年に向けて、邁進して頂きたいと思っております。

各加盟団体においても高齢化が進んでおりますが、その時代・時代に合った向かうべき方向性を共有し、「加盟員の方々の視点に沿った」、「ともに築き上げる」活動計画、実施、当協会独自の組織運用体制など良いところは継続して頂きたいと思っております。そして、ジュニアからシニアまで幅広く活気ある協会として50周年を迎えられることを期待しております。

テニスと歩んだ10年間

プロテニスプレーヤー 青山 修子



この度は厚木市テニス協会の40周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。私は高校一年の頃から約10年間、厚木市に在住致しまして、現在プロテニスプレーヤーとして活動しております。

高校一年の時は父の経営しておりましたテニスクラブのお陰で自分の好きなときに好きなだけできるという環境を与えてもらい、たくさんの方にお相手していただいたり、スクールを手伝うことで自分自身の成長にもつながっていきました。

大学では日本トップの庭球部に入ることができ、監督をはじめ周りの大人の方々、練習環境に恵まれ、多くのライバルの中で競い合い、テニス中心の生活を経て2010年にプロになりました。



2013年には今までのキャリアの中で最も大きいウィンブルドンダブルスSFという結果を残すことができ、厚木市においてたくさんの方でニュースとして取り上げていただきました。厚木市長を表敬訪問させていただいたり、交通安全の会にも参加させていただき、テニス中心の中で色々な経験をさせていただきました。厚木市テニス協会の皆様にはいつも陰ながら応援していただき、メッセージをいただいたりと、温かいサポートにととても感謝しております。

現在のテニスの認知度は、リオオリンピックでも銅メダルを獲得した錦織圭選手の活躍のお陰で高まってきています。こうした良い流れに乗って、テニスをする子どもたちが



増えていき、試合観戦に行きたいと思っていただけるよう、私自身一人の選手として、またいつか大きなニュースを届けて、少しでも元気や勇気を与えられるような選手を目指していきたいと思います。

未筆ながら、厚木市テニス協会の一層のご発展と皆様方のご活躍を祈念致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

テニスとは何か？



富士通 厚木
成田 正彦

厚木テニス協会設立 40 周年おめでとうございます。私は社会人からテニスを始めて 30 年の月日がたちました。始めた頃は練習でコートの中を無我夢中でボールを追かけるのが楽しく、試合に参加し始めた頃は 1-2 回戦を勝つだけで非常に嬉しく、試合では練習にもまして頑張ってプレーすることだけで楽しかったのですが、たまたま優勝すると、今度は勝ち負けにこだわり過ぎて、自分本来のパフォーマンスが出来ず、少しずつですがプレーに自信が持てず楽しくなくなり次第にテニスをするのも苦痛にさえ思うことがありました。そこで改めて自分にとって “テニスとは何か” を考えました。とにかくテニスを



始めてからの、この 30 年間で自分の中にあるものは試合に勝ったことも結果として残り非常に満足していますが自分にとっての “テニスとは何か” はテニスを通して、共に同じ時間・空間を共有する友人であり仲間の存在です。苦しい練習や精神的に辛い試合をプレー出来たのも私の周りにはいつも自分を理解し応援してくれた仲間がいてくれたからだと思います。また、試合で対戦した方・トーナメント会場で観戦・応援して頂いた方・大会の運営スタッフ・協会スタッフなど、出会えたすべての人に本当に感謝しています。テニスによって多くの人との出会いと、つながりが出来たことが私にとっての財産でありテニスそのものです。



テニスには勝ち負けはありますが、とても楽しいものです。底辺を広げて大きな輪のつながりを作ってきている厚木テニス協会は素晴らしいと思っています。私も協会の一員として今後もこの活動に参加していきたいと思っています。

最後に、30 周年に続き今回もこのような機会を与えて頂き本当にありがとうございました。

私のテニス人生



所属クラブ HKF
高橋 真波

厚木市テニス協会 40 周年おめでとうございます。私が硬式テニスを始めたのは平成 16 年 15 歳の頃でした。スポーツには無縁の生活を送っていました。テニスを始めるキッカケは当時母が出場していた朝日レディース本戦（ペアは厚木 HKF 代表の名取裕子さん）の応援に学校を休んで行きました。

選手の皆さんの一球に対して諦めない姿勢。真剣なその姿に胸が熱くなりました。私もテニスが上手になったらこの舞台に立ちたい。25 歳になったら母と出場したい。そんな思いから日々の練習が始まりました。

練習は母に球出ししてもらって基礎練習が中心です。

土日 4 時間続けてコートが確保出来ない時は河原で時間を潰したり車で昼寝してまた練習をする。どんどんテニスに夢中になっていきました。初めて試合に出場した時は緊張が先でサーブは入らない。

リターンは返らない。試合時間が本当にあつという間だったのを覚えています。中々勝つ事も出来ず、

本当に勝つ事なんて出来るだろうか？勝って本部にボールを持っていく事がただただ私の 1 つの目標でした。初めて 1 勝出来た時は、本当に嬉しかったです。厚木の試合では決勝の時 SCU の方が入ってくれる。その事にもちょっと緊張したりしました。テニスを始めて 4 年目厚木市から都市対抗の選手として出場させて頂いた事も本当に良い経験になりました。テニスを始めた時から母に言われていた「練習は裏切らない」を胸に勝っても練習、負けても練習、1 日 1 日を積み重ねての今があります。



25 歳になる年、テニスを始めるキッカケになった全国レディースに親子で出場しました。神奈川県大会で優勝し、N01 ペアになれた日は本当に嬉しかったです。

全国大会では 3 位という結果でしたが、親子で神奈川代表として戦えた事は私のテニス人生の中でもっとも嬉しい思い出です。時に自分のテニスを見失い悩む時もありますが、どんな時でも私を支えてくれる家族が居てくれて、

仲間が居てくれて。私は幸せ者です。これからも大好きなテニスを大好きな家族と仲間と続けていけたらいいと思っています。

このような機会を与えて下さった厚木市テニス協会様本当に有難うございました。



10年間のテニス人生を振り返って

所属クラブ チェリー
石嶋 紘一

平成 16 年 3 月、42 年間勤めた会社を定年退職し、それまで実業団テニス大会で、試合を楽しんでおりました。テニスクラブは、寒川町の湘南ファミリークラブに所属していました。平成 17 年 5 月 60 歳シングルス第 54 回神奈川県テニス選手権大会優勝。このときの相手は、第一シード左近山テニスクラブの井澤選手、場所は厚木市南毛利コート、各種目の決勝戦 12 面コートで開催、私はこのとき 64 ドローで「最後の 2 人が残っているのだ！一切悔いのない試合を」と頑張り、大接戦の末に勝利する事が出来ました。

この大会の後、全日本ベテランテニス選手登録を行い、現在も全国大会出場を目指して練習を積んでおります。厚木市テニス協会への入会は、神奈川県選手権を取ったこの年にチェリークラブの世話役の寺内様から入会の誘いがあり即入会し、現在に至っています。

60 歳の部 29 回厚木市民トーナメント平成 18 年第 30 回厚木市テニス選手権で優勝、65 歳の部厚木市民トーナメント、厚木市テニス選手権で 3 年連続優勝し平成 24 年協会より表彰を受けました。



70 歳になった現在、年齢別のシングルス、混合ダブルス等に出場し、これからも健康で楽しいテニス人生を過ごしていきたいと思っています。最近ではこれまでの経験を生かし、練習仲間に少しでも上手になる様にアドバイスさせていただいています。

最初にその人の目標がどこにあるか、仲間との楽しい試合がしたい、大会に出て上位を目指したい等々、教えるに当たっては、自分でそのプレーを、やって見せることです。レベルアップしたら各大会に出場してもらい楽しい試合をしてもらいたいものです。テニスに関しては、いろんな思い出がありますが、この投稿が 40 周年協会誌に、記載される幸せを味わいながら、厚木市テニス協会 40 周年と協会誌発行を心からお祝い申し上げます。

テニス人生を振り返って『あれから40年』



森の里テニスクラブ
藤本順三

厚木市テニス協会が創立40周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げますとともに、その歩みを綴った記念誌が発行されますことを、皆様とともにお慶び申し上げます。創立30周年から、早や10年の歳月が過ぎ、40周年記念誌の寄稿文を依頼されるとは夢にも思っていませんでした。

思い起こすと、私がテニスの試合（東京実業団対抗テニス大会）に出たのが25歳の時でした。“**あれから40年**”の長い月日経ち、『健康だからテニスができる』『テニスをしているから健康でいられる』ことをしみじみ実感しています。貴協会の創立40周年と私のテニス競技歴が同じだったことは、何かの縁でしょうか。

永年にわたり、テニスを趣味として継続できているのは、『テニスは頭を使うスポーツ』であり、将棋や囲碁のような奥深いゲーム性にあると思います。プレー中に対戦相手の心理状態を読みながら、緊張状態と弛緩状態がバランスよく入れ替わり、自分の得意なショットから相手のミスを誘い出すラリーの応酬は至福の時間です。

これからの目標は、故障しないように身体のメンテナンスをしながらグリップをユルユルにして打つ『脱力テニス』に磨きをかけて、大会へのフルエントリーを継続したいと思います。

リタイア後は、テニスのできる時間が格段に増えましたので、気軽に声をかけていただけたら何処へでも参上いたします。テニス愛好家の皆様、これからも、お手合せのほど、よろしくお願い致します。



テニスパンツが短い！〔1995年〕



For the 40th anniversary celebration from UK



リコー
今野 秀樹

この度は、厚木市テニス協会発足 40 周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。その記念誌の 1 ページに寄稿文を記載していただける事を光栄に思います。

今振り返ってみますと私が協会理事として参加させていただいたのが 11 年前で、その翌年に 30 周年記念式典の準備委員として参画/開催した事を思い出します。今度は発足

40 周年記念かと思うと本当に十年一昔と感ずります。今は知らない理事の方もいるかもしれませんが、当時はチップを使ったドローで、完成までに何時間もかかっていた事を思い出します。今は IT 化が進み、その辺は大分改善されドロー会議出席の各団体代表及び運営担当理事の負担も大分減ったと思います。協会内に審判部を発足したり、キッズテニスの



促進/展開と協会自らが常に前を見て進化/発展してきたからこそ、40 周年を迎える事が出来たのではないかと感じております。今後も更なる協会の継続/発展を願っています。

私の方は赴任当初(2015 年 1 月)はテニスをする余裕もありませんでしたが、1 年が過ぎ少し仕事に余裕が出てきましたので、今年の 4 月より地元の WREKIN Tennis Club (<http://wrekintennisclub.co.uk/>) に入会し、健康のために平日の夜に週 2 回のテニスを開始しました(休日は他のスポーツで忙しいため)。この春先は、レベル的には厚木市実業団 B クラスの周辺クラブとのダブルス対抗戦にも何度か出場し(勝率は約 6 割)、それなりにテニスを楽しんでいます。ただ、試合が夜の 19 時頃から始まり、終了後にホーム

チームのクラブハウスもしくは近隣の Pub で反省会を行いますので、帰宅が 23 時過ぎとなるのが、おじさんにはちょっとつらいです。異国の地 UK でテニスを楽しんでいる今野でした。

未筆ながら、厚木市テニス協会の一層のご発展と皆様方のご活躍を祈念致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



会社帰りに撮影したテニス仲間との写真

団体名 厚木国際テニスクラブ

代表者 米村 雅彦 <http://www.atsugi-indoor.com>

●部員数 男性33名 女性26名

●活動拠点 厚木国際テニスクラブ

●活動日時 クラブ会員、月、水、土、日の9:00am~6:00pm
スクール生、月~日のデイトム、ナイター他
(年2回の会員とスクールの交流会等実施)

●コート数、インドアコート2面、アウトドアコート2面 (全面オムニ)



厚木市テニス協会登録の厚木国際テニスクラブは約30名のクラブメンバー（会員）とテニススクールの一部のメンバーで構成されております。年2回（5月連休と秋口）のメンバー&スクール生交流会（親睦ダブルス大会とBBQ）等でクラブメンバーとスクール生のコミュニケーションは充実しております。厚木市テニス協会主催大会では年2回程「大会運営手伝い」をさせて頂いておりますがクラブメンバーのメイン担当者数名が責任持ってドロー会議出席から手順段取りまでキチッと取りまとめてもらえ「運営手伝い」には毎回10名以上で参加致しております。

「大会運営手伝いで参加スタッフが集まらない！」との苦労はほとんど無く参加メンバーの皆さんへは感謝の限りです。

さてクラブ会員は、やはり土日（祝）での活動が充実しておりますが、ここ数年は大変練習熱心です。ダブルスゲームよりも半面でのストロークラリー、ボレー&ストロークまたはボールバスケットを持ち込んだのサービス練習等、地道な反復練習が盛んです。「少しでも上達したい！」との気概！行動！に頭が下がります。

テニススクールも豊富な打球量と運動量が自慢！「正しい動作を理解して豊富な打球量で身体に憶え込ませます！」「実戦（試合）よりも少しだけ？（かなり？）ハードな動きでフィジカルも鍛える！」（試合でのフィジカルが楽になると“頭”も冴えますよ！）勿論！「楽しい！」のが大切ですのでラリー練習、ゲーム練習も充実！（若い方々も多数在籍??）そんな厚木国際テニスクラブです。

協会主催大会等で一緒にプレイする機会有りましたらよろしくお願ひします。



団体名 厚木市役所硬式テニス部
部長 鈴木祥浩
部員数 男22女12
活動拠点 FTC森の里テニスコート
主な活動日時 毎週土曜日午前中



クラブ紹介

私達厚木市役所硬式テニス部は、1977年頃に、厚木市役所職員のテニス好きな人が集まり同好会としてスタートしました。

当時は硬式テニスの経験者がいなかったこともあり、市内にあった企業のコートなどでテニスを教えてもらいながら活動をしていました。当時の会員数は約20人でした。

初めての合宿をおこなったのが1978年頃でした。この時の合宿参加者は18人でした。その後、部員の親族が持っていた畑をクレーコートにしてもらい、そこを拠点にして活動を行っていました。

厚木市役所硬式テニス部となり、厚木市テニス協会に加入したのは1979年頃のことです。

以前は団体戦の試合に出ても1回戦で負けてしまうことが多かったのですが、練習の成果が出てきたのか、最近では、実業団大会で1部リーグに出場するなどの結果を残しています。

毎年夏には部員の別荘に宿泊をし、秋には山中湖のホテルに宿泊をして合宿を行っています。テニスをとおして部員が楽しく交流し過ごすというのが我が部の目標です。

今後の展望としては、他のクラブと練習試合をとおして交流していければと考えていますので、ぜひお声をかけていただきたいと思います。



団体名 アプローチTC
代表者 竹内 輝明
HPアドレス なし
部員数 男18 女7 計25名
活動拠点 主に南毛利コート
主な活動日 主に土、日の午前中

クラブ紹介

発足は20年前になります。アプローチTCは2つのグループが合体して成り立っています。2つのグループはハッスルグループ、玉真グループです。発足当時は4つのグループがあり45名参加していましたが、現在約半分になっています。現在代表はハッスルグループが行っていますので、主にハッスルの紹介をします。メンバーは21名おり、南毛利コート、荻野コート、愛川コートで土、日、水を主に活動日とし、三々五々集まって練習をしています。大会で優勝を目指すというより、現在の健康維持、親睦、情報交換を主にしています。それでもグループ内の芳賀さんは男子ダブルスで優勝していますし、玉真グループの女子シングルスで優勝しています。クラブ対抗戦では初戦突破していますが、優勝はしていません。

親睦では3月あしがらいこいの村でのテニス合宿、春花見でのバーベキュー、8月山梨の道志村でのテニス合宿を行っています。そしてカラオケで盛り上がる忘年会を行っています。

写真は3月の足柄いこいの村でのテニス合宿の様子です。



アンリツ株式会社（テニス班）

代表者 木下 弘之

HP アドレス なし

部員数 男47名 女17名

活動拠点 南毛利スポーツセンター、荻野運動公園など

主な活動日時 毎週水曜日、土曜日

クラブ紹介

アンリツ株式会社（テニス班）は、アンリツの班活動の1つで、厚木市テニス協会に加盟して35年と比較的古株になります。アンリツには他にもサッカー、野球、バドミントンなどの班活動があり、すべて〇〇班と呼んでいます。

現在、約60名の班員が所属しており、テニスを初めたばかりの初心者からベテラン、そして幽霊班員まで、アンリツ内外関係なく様々な方が所属しています。

水曜日と土日に厚木市近辺のテニスコートを借りて腕を磨き、毎年、山中湖でのテニス合宿や班内交流戦、忘年会、カレーパーティなどの活動も行っています。

近年は、市民大会や厚木市実業団リーグに積極的に参加することを通じて、テニスの実力強化を図っており、少しずつですがその成果が出てきていると感じています。

今後は大会以外にも協会の企画するイベント等に深く関わり、他団体の皆様と共に厚木市のテニスを盛り上げていきたいと思っていますのでよろしくお願い致します。



NTT 厚木 R&D センタテニス部
1983 年度加盟

代表者 風間 拓志

HP <http://www.aecl-tc.sakura.ne.jp/>

部員数 男 53 女 20

活動拠点 NTT 厚木研究センタ

主な活動日時 土日終日

コート数 オムニコート 3 面

(右写真)



クラブ紹介

我々のテニス部は、昭和 58 年(1983 年)に NTT 厚木通信研究所が開設されたときに設立されました。それ以来、30 数年間活動を続けており、現在では総勢 73 名が部員として登録される規模となっています。年間を通じて、厚木市テニス協会主催の大会に参加するとともに、他団体との親睦戦も定期的に行っております。夏にはビアパーティやテニス合宿、秋には厚木センタ内ロケオープンを開催する等、部員のみならず、家族や友人を交えた活動を活発に行っています。実業団活動も行っており、最近では 2014 年に第 76 回神奈川県実業団 B 大会で念願の優勝を果たし、神奈川県リーグへの昇格を達成しました。また、若手を中心とした女子の実業団チームも 2016 年に新たに発足し、実業団全体として活動が活発になってきています。一方、初心者の方もテニスを楽しく覚えてもらえるように、練習メニューを工夫した定期練習会を毎週火曜日夕方に行っており、テニス部全体の技術的なボトムアップも図っています。R&D センタ内には 3 面のオムニコートがあり、その 1 面を我々テニス部が予約して使用しています。週末になると、テニス部員だけでなく、家族ずれでテニス三昧になることもしばしばで、木々に囲まれた恵まれた環境が整っています。

今後も、厚木市テニス協会および所属団体の方々とも広く交流を図っていきたくと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

2014 年 5 月 25 日

第 76 回神奈川県実業団 B 大会優勝

NTT R&D



団体名：サンテニスクラブ

代表者：平成28年度代表 福島 齊

HPアドレス：<http://www5b.biglobe.ne.jp/~seecyan/>

部員数：クラブ員 男性：9名 女性：8名

活動拠点：FTC森の里

活動日時：

第一、第二、第四日曜日

13：30-16：00

コート数：二面



厚木市テニス協会設立40周年を迎え心からお祝い申し上げます。

私達サンテニスも昭和62年4月に発足依頼30周年を迎えようとしています。発足当初の抽選によるテニスコート確保から始まり、三田のテニスコート、信和テニスコート、本厚木テニスコートと練習本拠地を移しながら今では「FTC森の里」さんのコートで活動を続けています。「何処かの老人クラブが随分楽しく賑やかにテニスを楽しんでいるね！」と囁かれるのは当然で、いつの間にか、平均年齢男性65.8歳、女性64.1歳の高齢者クラブとなり、サンテニスクラブ部歌でもあります「青春時代」は真に遠くになってしまい感慨一入です。サンTC全員、テニス協会の公式戦出場には少し気が引けてしまう年齢ではありますが、クラブ対抗戦等には喜んで参加させていただいていますし、近々全員70歳での公式戦出場を目論んでいます。直近の戦績では27年度団体チャンピオントーナメント大会コンソレーションにおいて3位に入賞したことでありますがそれでもクラブ内は大盛り上がりになりました。私達サンTCは過去に優秀な戦績を収め、テニス道に華を咲かせたわけでは有りませんので、とても「枯れたテニス」などできるはずもありません。いつまでもテニス道を往く白髪頭の球道者になったつもりでテニスを楽しんでいます。毎週日曜日には「FTC森の里」さんのコートで3時間、アフターファイブは反田の「Monsieur」さんでマイルスなんかを聞きながらオン・ザ・ロックをかたむける！なんて言うのはチョット違って、「焼酎のお湯割り」をかたむけております。これもテニスがあればこそです。私達サンテニスクラブも30周年を目前に、よくここまで継続してこられたものだとしみじみと思う今日この頃です。

この厚木市テニス協会40周年を期して厚木テニス協会の更なる発展を祈念いたしますと共に是非、テニス協会50周年にもサンテニスクラブの名前が記念誌に残ることを切に願っております。

団体名 新厚木TC
代表者 大野 健二
部員数 男61女40
活動拠点 厚木市営コート
主な活動日時 不定期



クラブ紹介

40周年おめでとうございます。

長きに渡り協会が存続し素晴らしい大会運営を続けられているのは、代々の会長始め理事や各団体の代表者のご協力があったの事と感謝申し上げます。

新厚木TCは厚木テニス協会に加盟して24年が経ちます。

クラブ員は現在100名を超え、試合にも積極的に参加しております。

特に団体戦には力を入れており、クラブ対抗戦では平成25年から3年連続で厚木市の代表としてクラブ対抗神奈川県大会に出場しました。結果は残念ながら3年連続2回戦敗退という結果ですが昨年はベスト4まで後一步の所まで行きました。

平成28年度の厚木予選会も優勝して今年も県大会の切符を手にしてしますので、チーム一丸となって更に練習に励み今年こそは神奈川県ベスト4以上の結果を残せるよう頑張りたいと思います。

最後になりますが、厚木テニス協会の一層の発展とご活躍をお祈り申し上げます。

団体名 スターテニスクラブ
代表者 阿佐美善久
HP アドレス<http://startc.chobi.net/>
部員数 : 25名。(年齢 30代~60代)
活動日 : 毎週日曜日、祝日。
活動場所 : 公営コート 月1回民間コート



創立35周年懇親会
記念式(平成27年)



記念品



平成27年合宿



クラブ紹介

厚木市テニス協会40周年おめでとうございます。スターテニスクラブは、創立36周年のサークルです。1979年。ラケットを持ったこともない人達が集まり、「テニスって面白そうだな・・・」という軽い気持ちでテニスをやり始めました。仲間と毎週のように練習するうちにやがてテニスの魅力にとりつかれ夢中になり、厚木市テニス協会に加盟して活動するまでになりました。現在創立当時のメンバは少なくなりましたが、新規入会メンバも多く、幅広い年齢層のメンバが毎週のテニスを楽しみに活動しています。

大会に出て優勝を目指す人、健康のためのテニスであり大会には出ない人、基礎練習が重要という人、基礎練習はできればやりたくない人等々、いろいろな人がいます。それぞれテニスに対する取り組み姿勢は違いますが、お互いの考え・プレースタイルを尊重し合い楽しく真剣にテニスができることが、スターテニスクラブのとても良いところです。ラケットを持ちテニスコートに立てばみな全力でボールを追い「テニスって本当に面白い!」という共通認識が、クラブ内コミュニケーションの要となっています。朝から夕方まで南毛利コートで一日テニスという日も珍しくありません。年に一度一泊二日の合宿を行っています。毎年参加者多数でテニス三昧の日を過ごします。

テニスって本当に素晴らしいスポーツです。これからもテニスを通じて、クラブ内外の多くの方達と親睦が図れるようにしていきたいと思えます。

余談ですが、昔は、酔えば酔うほど強くなる「酔拳」ならぬ「酔庭球」の人がいたというクラブ内伝説があります。「酔庭球」は伝承されず、今はスポーツドリンクを飲み健全かつ科学的にテニスを楽しんでいます。

団体名：ソニー厚木テニス部

代表者：鈴木啓太

HP アドレス：

部員数：男 153 女 41

活動拠点：ソニー厚木コート

主な活動日時：火、木、土、日

コート数：オムニ 3 面



クラブ紹介

・はじめに

ソニー厚木テニス部 (Sony Atsugi Tennis Club、通称 SATC) は部員数約 200 人を誇るテニスを楽しむ団体で、各人がそれぞれのスタンスで楽しんでいます。年齢は新入社員から定年退職後までの幅広い年齢層に家族会員も加えて、初心者から実業団メンバーまで様々なテニス好きメンバーが所属しており、イベントに積極的に参加してくれています。「会社のテニス部」というと厳しい練習をしているようなイメージを持つかも知れませんが、実際には部に所属するメンバーで構成されたスタッフが毎月のように様々な「テニスイベント」を開催し、自分のスタイルに合わせて自由に参加するという運営を行っています。

・活動拠点

テニスコートは厚木寮敷地内にありますので、出勤前や会社帰りなど、いつでも気軽にテニスを行うことができます。「テニスが大好きなので毎回参加したい!」というスタイルでも、「家庭があるので都合の良いときだけ参加したい」というスタイルでも自由に選ぶことができます。

・活動内容

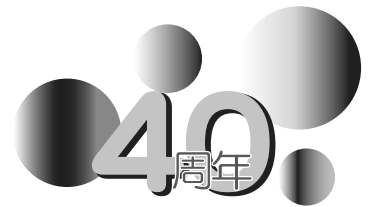
主に活動している曜日は火、木、偶数日の土日となっています。どの日でも自由に打つことができずし、ベテランの方からの優しいレッスンを受けることもできます。特に「これからテニスを始めたい」という初心者には熱心に指導を行っています。また、「テニスの実力を磨いて勝負にこだわりたい」という方も多く在籍しており、実業団や社会人リーグに挑戦している方が日夜練習に励んでいます。

・イベント

スタッフが年間スケジュールを立てて毎年イベントを開催しています。例えば夏合宿ではプロコーチを呼んで指導を受けたり、部内戦では個々の実力をはかることができます。平日、休日練習会ではレベル別に練習を行っており、初心者の方にもその人にあった指導を行っています。一般のスポーツクラブなどでも同様のレッスンが行われていますが、SATC でも同等以上のレッスンがより身近な多くの仲間と楽しく受けられます。

・さいごに

社会人になるとスポーツをすること自体が減ってしまう上に、所属部署以外に知り合いや仲間ができていくのが事実です。SATC ではテニスを通じて仲間の輪を広げることができます。「様々な人」に「それぞれのスタイル」で「自由に」テニスを楽しんでもらう、それがソニースタイル。これが SATC です。



団体名 チャンスTC
代表者 中田 徳明
HP アドレス なし
部員数 男24女26
活動拠点 厚木市公営コート
主な活動日時 土日
コート数、その他

クラブ紹介

このたびは、厚木市テニス協会創立40周年誠にありがとうございます。これも一重にこれまで協会を支えてこられた諸先輩方々のご尽力のおかげと厚く御礼を申し上げます。さて、我がチャンスT.Cも1995年に発足、協会に加盟してから早いもので22年がたとうとしております。発足当初は、100名を超える大所帯でありましたが、他の新たなクラブの立ち上げに伴い会員も淘汰され、現在は50名程度で活動しております。主な役員は、顧問1名、会長1名、副会長2名の体制ですが、H28年度より会員全員が、何等かの役割を持ち責任を持って運営に携わるようにしています。特定のコートはなく、月1回の練習会（第1土曜日）では、全体練習及び女性中心のテーマ練習、一般練習等を行っております。

会員は一様に技術向上への志が高く、試合に向けて基本の反復やフォーメーション展開など日々、個々にも熱心に練習に励んでいます。そのような鍛錬の結果、ここ数年厚木市民トーナメント及び選手権においては、優勝を含め好成績を収める人が増え、神奈川県選手権、全日本ベテラン出場と活躍の場を広げています。

また、厚木市の団体戦では常に複数のチームを編成させ、それぞれチームがひとつでも多く勝ちあがれるように一致団結してプレイと応援に臨んでいます。チャンスT.Cは、会全体が大変仲の良いクラブですが、それはこの団体戦での結束力にも繋がっていると感じています。

記念すべき40周年を迎えた本年に我クラブの顧問を務める山下昭男氏が、厚木市テニス協会の新会長に選出された事は誠に誉高く、会員総員大変感激しております。

これからも『全員運営』の理念を保ちつつ『仲の良い強いチーム』を目指していく所存ですので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

最後になりますが、厚木市テニス協会の今後の益々のご発展を心よりお祈りいたします。

団体名：オリオン TC

代表者：早川 明彦

HP アドレス：なし

部員数 男 13 女 12

活動拠点：厚木市や海老名市

主な活動日時：練習会 1 回/月



クラブ紹介

こんにちは。オリオンTCです。

厚木市テニス協会設立 40 周年おめでとうございます。

私たちオリオンTCは、10 年前（2006 年）に毛利台TC、スリーパーズ、T.Adv の3つのテニスクラブが合体して新たなテニスクラブとして出発しました。三つのクラブをオリオン座の三ツ星になぞらえ、クラブ名をオリオンにしました。

現在会員数 25 名（男性 13 名・女性 12 名）のこじんまりとしたクラブです。月 1 回の練習会や暑気払い、忘年会、合宿などを開催し、会員間の親睦を図っています。メンバーは仕事無関係の有志の集まりで、和気あいあいな雰囲気の中テニスを楽しんでいます。また春の市民トーナメントや秋の選手権に参加し、日ごろの腕前を存分(?)に発揮しています。ただ近年は会員数の減少により、団体戦への参加が難しくなっています。新しい会員を募集していますので、興味のある方をお待ちしています。

今年は協会設立 40 周年ですが、協会がこれからの 10 年、20 年とますます発展していかれるよう祈念するとともに、私たちオリオンTCも協会とともに楽しいテニスクラブであり続けるよう、会員の皆さんと何歳になっても楽しくテニスが続けていきたいと思っています。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。

Team One Point
(通称TOP)

代表者 久保英俊
 部員数 男19女15
 活動拠点 厚木市
 主な活動日時 夜の居酒屋
 現理事 森 英子
 橋本満則
 旧理事 吉田知香
 志田美代子
 吉野卓志
 村上淳子
 久保裕乃
 久保英俊



クラブ紹介

厚木市テニス協会40周年おめでとうございます。

我々のクラブTeam One Point (通称TOP)も、1990年に誕生してからなんと！26年になりテニス協会にも大変お世話になってまいりました。

創部初期は20代から30代しかいなく、メンバーが増えるにつれ市営コートでの週1回の練習では物足りなくなり、練習拠点を神奈川工科大内のテニスコートに移し、練習回数も週2回朝から夕方まで行い、練習後は毎回のように居酒屋やBBQ等でバカ騒ぎをしていました。

若いメンバーが多かったのでハードな練習に明け暮れる中、部内恋愛で結婚するペアも多く“練習するならTOP”、“結婚するならTOP”のキャッチフレーズを掲げて部員も集まり知人からの紹介などもあり、最盛期で総勢60名を超えるまでになりました。

TOPはイベント好きで、他団体の皆さまからも大勢参加いただいた“TOP CUP”やメンバーの“結婚パーティー”、冬は“スキー旅行”、夏は“テニス合宿”などを行っていました。“テニス合宿”では騒ぎすぎて宿から翌年の予約が取れず毎年宿を変えるほどでした。

しかしながら結婚して転居するペア、育児や故障などの理由からテニスができなくなる人等も多くなり、現在はクラブ対抗に出場できる最低ライン位の人数にまで減ってしまいました。

そんな状況でも何かイベントを企画すれば、少なからずメンバーも集まり以前のように沸き合い合いとした時間を過ごせるのもTOPです。

近年では練習コート確保も難しく、コートが確保できても練習メンバーも集まらず、TOP本来の活動ができていない状況です。幸いなことに他の団体やメンバー各人の繋がりによって練習をして試合に出場し、今年のクラブ対抗では久々に決勝まで行くことができました。

TOPとメンバーをこれからも宜しく願います。

団体名 鳶尾テニスクラブ（鳶尾TC）
代表者 小林 彰
部員数 男33女31
活動拠点 鳶尾中央公園テニスコート
主な活動日時 毎日



クラブ紹介

厚木市テニス協会創立40周年おめでとうございます。
鳶尾テニスクラブは荻野地区で活動している市民クラブです。鳶尾団地が建設された翌年の昭和53年春に30名ほどのテニス愛好者が集まって発足しました。協会発足の翌年ですので、当クラブも来年は創立40周年を迎えます。現在の会員数は64人ですが、発足当初からの会員も多く残っています。皆さんそれなりに年を重ねられていますが、健康で毎日テニスを楽しんでいます。ホームコートは鳶尾中央公園テニスコートです。オムニコート2面で地域のテニス愛好団体や一般市民の方と共同で使用させていただいています。厚木市公園緑地課が管理されていますが、地域のテニス団体で構成した「鳶尾公園テニスコート運営委員会」にコート運営をまかされていて、運営委員会主催でのテニス大会の開催や、毎月のコート清掃も共同で実施しています。鳶尾TCは過去には華々しい戦歴を持つ選手を数多く輩出していましたが、この10年を振り返ると寄る年波には勝てず、年齢別種目の出場が多くなりました。中でも島田、改ペアはトーナメント大会男子55才ダブルスで3連勝して協会表彰を受けるなど活躍中です。若手は少ないのですが、ジュニア会員で活躍している選手もいます。小見山僚君はインターハイで好成績を収め、今は大学生ですが、国体の東京都代表にも選ばれました。今後の活躍が楽しみです。鳶尾TCは、まさに生涯スポーツを満喫しているクラブと言えると思います。テニスにつきものはアフターテニス、コートの隣の公園でビールを片手にテニス談義やもろもろのおしゃべりが日課になっています。心身ともにリフレッシュさせてくれるクラブです。これからも愉快的仲間たちに囲まれて、健康第一で頑張っていきたいと思います。

日産テクニカルセンター

代表者 藤代 宗信

HP アドレス なし

部員数 男 112名 女 25名

活動拠点

日産先進技術開発センター

主な活動日時

毎週土日 8:30~18:30

コート数 オムニコート2面



クラブ紹介

日産テクニカルセンターテニス部の紹介を致します。

創部は日産テクニカルセンター開設と同時期の1981年で、テニス部として活動を開始し今年度で35年目となります。創部当初はホームのテニスコートが無く、座間、横須賀、平塚のテニスコートを借りて活動しておりましたが創部2年目に事業所敷地内に待望のテニスコート3面が完成し2006年まで活動拠点としておりました。当時のテニスコートはクラブハウスも更衣室も無い環境であった為部員はテニスマニアを中心としたメンバー構成であり日々の練習も過酷でハードなものでした。その後、2007年度の日産先進技術開発センターの開設に伴い森の里青山に完成した日産厚木総合グラウンド内のテニスコートをホームコートに変更したため日産社員以外の方々も制限無く入場できる様になり、特に女性部員が増えて華やかな雰囲気になりました。

現状テニス部の在籍人数は毎年度120人程度で推移しており、老若男女問わず初級者から上級者まで各々のテニスレベルに合せた練習やゲームを週末の休日を中心に楽しんでおります。また定期的に開催するテニス部練習会では毎回の様に新規入部希望者が参加しており、今後も益々部員数は増加する見込みです。

テニス部の対外的な活動としましては、厚木市テニス協会主催の春の厚木市民テニストーナメント大会と秋の厚木市テニス選手権大会への参戦があります。この2大会でより上位の成績を残そうと多くの部員が継続的に参戦しています。またチームとしての団体戦の活動として厚木市実業団大会へ男子2チーム、女子2チームが参戦中です。神奈川県実業団大会へも男子1チームが創部3年目より継続して参戦中です。団体戦へ参戦する事でテニス上達へのモチベーション維持やチームワークの向上が図れます。また他チームメンバーとの交流も良い刺激になっており、今後も積極的に実業団戦に参戦していきます。

日産テクニカルセンターテニス部は、企業系テニス団体として厚木市で活動して参りますので今後もよろしくお願い致します。

富士通厚木
代表者 川端 政幸
部員数 男39名 女14名
活動拠点 社内コート
主な活動日時 土日祭日
コート数 オムニ2面



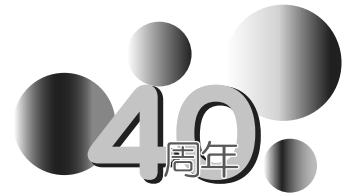
クラブ紹介

厚木市テニス協会創設40周年おめでとうございます。
日頃より協会の方々のご尽力には大変感謝しております、本当にありがとうございます。
当クラブも発足して約30年、厚木を中心に神奈川、関東、甲信越と試合を求め、さすらい続けた若い日々が懐かしく思い出される今日この頃。改めて年月の流れを感じております。
発足当時から現在まで変わらないのは”いつでも誰でも楽しくテニスやりましょう”のモットー。練習は近隣の企業の皆さんやお友達と幅広く行われ、大変良い刺激となっています。また、お酒の席では多種多様な職業の方がいますから話題に尽きる事が無く。でもメインの話題はやっぱりテニス！熱く語り、うるさ過ぎて他のテーブルからの視線が刺さる事も度々です。
”2位じゃダメなんですか？” ”あつたり前だ！優勝以外は無意味、初戦敗退と同じだ！” とこんな感じです。富士通厚木のもう一つのモットーでもあります。（最近ベスト4までなら意味あるかな～と我々もだいぶ丸なってきました）
チームワークは最高で個人戦だけではなく、団体戦に特に強いのが富士通厚木の特色です。チャンピオン大会で現在2連覇、その前は5連覇の実績もあり、ふざけながらも昼も夜も激しく熱い我々の絆…もしかして厚木No1の変態テニス集団ではないのかと勘違いするほど楽しい団体です。
ぜひ、一度遊びに来て下さい。

テニスから学んだ楽しさ、厳しさ、達成感、チームワークとたくさんありますが、テニスの素晴らしさの最たるものは仲間がすぐに出来るという事だと思います。多くの仲間が出来、長く付き合える環境を作ってくれるのがこのスポーツ。これからも楽しみながら付き合っていこうと思います。

最後になりますが、厚木市テニス協会の益々の発展を心よりお祈り致します。





団体名 プレストTC

代表者 荒木貞男

HP アドレス なし

部員数 男17 女16

活動拠点 厚木市内公営コート

主な活動日時 毎月第一日曜日



クラブ紹介

プレストTCは、平成11年に別々のサークルで活動していた女性メンバーが集まって出来た出来ました。サークル名は、イタリア語で「爆進する」という語源と共鳴し、プレストという名前になりました。その後、男性メンバーのも次第に集まり、創立後、2年続けてクラブ対抗戦県大会出場を始め、厚木市の大会で数々の優秀な成績を納めております。

飲み会の方もかなり凄く、テニスの後の飲み会は、昼にテニスが終わっても夜遅くまで行われました。当時の会長の娘さん曰く、小さいころは、お母さんが朝から晩まで帰ってこなかったもので、とても寂しかったという話を聞いております。

会長は、宮武会長9年、志田会長3年、加藤会長4年、荒木が3年就任しております。

私が会長になってからは、練習会もコートに入っている時間よりもお話している時間が多いくらい、のんびりした感じでテニスをしております。コート面数が沢山とれたときは、他のサークルとの対抗戦を行ったり、和気あいあいとした感じです。合宿の年1回行っております。

このようなサークルで、厚木市テニス協会50周年に向けて、ますます高齢化していきますがこのまま和気あいあいと続けていけるように皆で頑張っていけたら幸いです。

以上

団体名 宮の里 TC

代表者 菊地 均

部員数 男 23 名 女 15 名

活動拠点 鷺坂公園内コート

主な活動日時 天気の良い日



クラブ紹介

厚木市テニス協会創立 40 周年おめでとうございます。

宮の里 TC は昭和 60 年に結成、同年に厚木市テニス協会に加盟し厚木市の大会でも好成績を修め続けて来ました。

厚木市宮の里は宮ヶ瀬ダム造成の代替移転地として住宅開発が行われた地域です。宮の里 TC はその閑静な住宅街の中にある住民を中心としたテニスクラブとして誕生しました。

テニスコートは宮の里鷺坂公園内に貯水池を兼ねたオムニコートが 2 面有り平日、週末に多くの方が気持ち良い快音を響かせています。

地域住民の繋がりが良い地域なのでクラブ内の雰囲気もよく皆仲良くテニスを楽しんでいます。近年では地域外の方々にも数多く参加して頂きテニス技術の向上に励み、親睦を深めています。

多くのクラブで高齢化により会員数が減少している悩みはあると思いますが宮の里 TC では 10 年以上も前からジュニアの育成に力を入れ週末には小学生を中心としたレッスンを行いテニスの楽しさを体験してもらっています。複数年続けられた子供達も多く、大きな自信になっているでしょう。

そんな子供たちが大人になりテニスコートに帰ってくる日はもう間もなくかと思えます。

人に優しい宮の里 TC、皆さんも是非遊びに来てください。

お待ちしております。



30周年記念パーティーの加藤プロ
西改プロ、野口実行委員長、吉富会長

団体名 森の里テニスクラブ

代表：花田浩一

部員数：男97 女52

活動拠点：若宮公園テニスコート

主な活動日時：コートが開いている日

4～9月は8～18時10～3月は9～17時

火曜木曜の初心者練習

月1回の地域公開練習

コート数：2面、年間を通じ厚木市から有料で借用



クラブ紹介

森の里テニスクラブ（MTC）は、県立七沢森林公園東に新開発の森の里地区が誕生した昭和60年に、厚木市から森の里公園コート2面の有料貸与を受けて設立いたしました。初代会長は太刀川修吉さんでした。現在、森の里地区では、ソフトボールやゲートボール、グランドゴルフ、写真、合唱、カラオケ、麻雀等多くのクラブが楽しい活動を行っていますが、当時はMTCが唯一の活動団体で、そこでのコミュニケーションが森の里の人的発展に果たした役割はととても大きかったのです。毎年盛大に行われる夏祭りや地区運動会そしてクリスマス祭りも、その誕生にMTCの会員が貢献しています。MTCは毎年夏祭りに模擬店を出店し、焼きそばとフランクフルトを提供して喜ばれています。

テニスに関する地域貢献では、毎年森の里公民館主催の「キッズテニス教室」や森の里小学校主催の「森っ子フレンドリーデー」等のスタッフとして協力し、月の第1日曜日には会員を問わず広く地域住民にテニス練習会を行っています。非会員の小学生参加も年々増えていることから森の里地区のテニス

愛好者の増加とMTCの会員増が期待されているところです。森の里からオリンピック選手を！こんな夢も語られる昨今です。森の里在住の方ならどなたも会員になることができます。会費は月1200円で、コートが開いていればいつでも利用できます。

30周年記念パーティーで
谷口幸一郎さんの全日本ベスト8入賞を祝う



団体名：日立厚木

代表者：横田 忠治

部員数：男 12名 女 8名

活動拠点：

F T C森の里テニスコート

主な活動日時：

7：00～9：00（土、日）



クラブ紹介

日立厚木テニス部として常時活動しているのは7名で、練習においては4人集まれば多い方と、ちょっと寂しい団体です。ちょっと前まで、メンバー中心のほとんどが50オーバー、アラフォー1人と、ガタがきているおじさん達だけでしたが、最近、待望の若手（20代前半）が入部し少し活気が出てきました。

練習は、会社にテニスコートがないので、F T C森の里テニスコートを年間契約して使わせてもらい、土曜、日曜の朝7：00～9：00までの2時間実施しています。朝早いのですが、そこは年を取ったおじさん達ですので、朝早く目がさめるようで、歳をとった順に参加率が高いです。練習も体育会系の乗りではなく、ゆっくり休憩をとり、雑談しなら和気藹々とやっています。

厚木市の実業団の試合にも毎年参加していますが、ここ数年は2部トーナメントを突破できない状況が続いています。若手が入ったので来年こそは、1部リーグに復活するよう練習に励んでいます。

今後、3年ぐらいで若手が増えないと、クラブの存続危機でヤバイですが、メンバーは皆楽しんでテニスをやっています。

団体名 リコー厚木

代表者 戸田 智久

HP アドレス

ricoh.atsugi@gmail.com

部員数 男 32 女 2

活動拠点 リコー厚木事業所

主な活動日時 土日 8:30～

コート数 2 面(占有 1 面)



クラブ紹介

株式会社リコー 厚木テニス部は、昭和46年に結成されました。

厚木テニス協会には、発足当初から入会させて頂き、長い間大変お世話になっています。

部員は男女合わせて34名（男性32名・女性2名）在籍し、主な活動場所は厚木市下荻野にあるリコー厚木事業所敷地内のオムニコート（2面）です。

練習は平日夜間と、土日は部員外から参加される方も含め練習を行っています。日時を決めた全体練習というものはなく、各自都合の良い時間にコートに来ています。そのため、練習相手が誰も居らず一人で練習する光景が偶に見受けられます。

部員は新規入部者が少なく、若手部員の多くは厚木事業所以外に勤務しており、高齢化の波が押し寄せています。

当部の主な社内の活動としては、下記のようなものがあります。

- ・年に一度のOB戦
- ・不定期に行われる他クラブとの対抗戦

OB戦の参加者は殆どの方がOBとなり、OBだけの戦いへと変化を遂げつつあります。以前行われていたテーマ別練習会や合宿、実業団選手の選抜・入れ替え戦は練習参加者の減少から最近では行われなくなり、個々人が思い思いの練習を行っています。

社外行事としては、神奈川県実業団（男子）に1チーム、厚木市実業団（男子）に2チームの登録をしています。また、厚木市のシングルス大会、ダブルス大会にも個人の腕試しとして各部員が参加しています。

現在、以前より練習の参加人数も減っており、次の10年を担い部内に活気を生むネクストジェネレーションを募集しています。

リハビリ

代表者 平野 敦司

部員数 男19女9

活動拠点リハビリテニスコート

主な活動日時 昼、夕、土、日

コート数4、



クラブ紹介

リハビリのテニスは、(アルコールの)同好の士が集まって始まり、それは、ちょうど厚木市テニス協会の発足と同時期だったと協会の10年史にありました。厚木市テニス協会への登録も昭和53年(1978年)とのことで、協会と歩みをともにしてきた感があります。

同好の士の集まりは、現在もつながっており、春に、秋に、冬にとテニスコート横でバーベキューをしながらテニスを楽しんでいます。これもエリア内にテニスコートがあったからです。

テニスコートは、脳血管センターエリアにハード2面、神奈川リハエリアにハード1面、クレー1面あります。脳血管センターのコートは一般貸出もしていますので、是非ご利用ください。かなりひび割れしていて、イレギュラーの練習にピッタリです。

クレーコートは、数年前にエンジン付きコートローラーを譲り受け、非常に良いコートになっています。隣のハードコートは、厚木の車いすテニスの発祥の地でもあり、毎週土日は車いすの方が利用しています。

現在のリハビリは、実業団登録ですが、実際は外部の方が多くなり、クラブチームのようになっています。それでも、実業団女子はほぼ毎年県大会に出場を勝ち取るなど、頑張っています。男子は・・・。

こんなリハビリです。ぜひ、クレーコートの練習に、バーベキューテニスにお越しください。

団体名 チェリーテニスクラブ
代表者 杉本祐子
部員数 男52女36
活動拠点 市営コート
主な活動日時 大会前の週末



クラブ紹介

厚木市テニス協会様、協会設立40周年おめでとうございます。チェリーテニスクラブを発足し30年程になります。そして厚木市テニス協会に加盟して20余年、登録当初はたった10人の小さなクラブでした。しかも当時は最年少が30代でその30代もたった1人！平均年齢は50代後半のシニアクラブでした。毎週木曜日に県央テニスコート、現在の南毛利コートで定例の練習会を行い練習後は皆でランチに行くことがお定まりのアットホームなクラブでした。コートを確保する為に毎月県央体育館の抽選会にメンバー全員で参加しました。今はマイタウンクラブのシステムにより抽選会場に足を運ぶ手間もなくなり楽になりましたね。いつしかメンバーが友を呼び、その友が新たな人達を誘って、今では80人程の大きなクラブになっております。現在チェリーは20代から70代の幅広い年齢層が集っていて共にテニスを楽しんでおります。

これからもテニスを楽しみ試合に挑戦して充実したテニスライフを仲間と共有したいと思います。そして10年後の厚木市テニス協会の50周年にもチェリーが加盟団体として参加出来る様協会を盛り立て健康を維持し元気に10年後が迎えられる様精進して参ります。



団体名：ネットインTC

代表者：内田 孝之

HP アドレス：なし。

部員数：男35女22

活動拠点：

旭町スポーツ広場内河川敷コート

主な活動日時：週末の午前中

コート数：2面

クラブ紹介

ネットインテニスクラブは、老若男女幅広い年齢層（10代～80代）のメンバーが、週末を中心に楽しくコミュニケーションを取りながら活動しているテニスクラブです。年に一度の試合運営協力の際も、様々な年齢層のメンバーが積極的に参加し、運営お手伝いを通じてコミュニケーションをはかり、親睦を深めていっております。テニスの目的も、技術向上、健康維持、ストレス発散、試合での上位進出を目指すなど、メンバーそれぞれで違いますが、テニス大好きであるということに変わりありません。テニスを通じて様々な年齢層の人たちと交流できるのが、当クラブ最大の魅力となっています。

主な年間活動イベント

3月：ネットイン総会

4月：クラブ対抗戦

5月：市民大会

6月：市民大会

7月：市民大会

9月：選手権大会

10月：選手権大会

11月：選手権大会

12月：チャンピオン大会

※上記大会の何れかに運営協力

本厚木ローンTC (HLTC)



代表者：稲富 浩彰
HPアドレス：なし
部員数：男13、女13
活動拠点：公営コート
主な活動日：土日、祝日
ひと言：みんなの向上心
→アッパレ



クラブ紹介

厚木市文化会館の近く(厚木市恩名)で、コート6面を有する民間の「本厚木ローンテニスクラブ」があったのをテニスフリーク読者の方にはご存知と思います。

ここで約10年間オーナー青山さんがクラブを経営しておられましたが、残念ながら閉鎖となり、2016年度より有志によりHLTCの名を引き継ぎ活動を行っているのが現HLTC（'15年度まで協会会長だった渡部さんも所属(現クラブお目付役)）のクラブです。

今は会員数はそう多くありませんが、テニス協会の催し、各種大会の参加をメインに活動を行っています。

メイン活動としていたコートはなくなりましたが、市営コートを何とか確保しつつ練習会を行い、プレーの質と技術の向上、テニスを通じた会員の親睦を図っています。

目標は、各メンバーにおいて市民戦ベスト4以上が常連となること、& 厚木市クラブ対抗戦で勝ち残り、県大会出場、(そして、適宜開催の「メンバー懇親会」で盛り上がること！ →

→ こっちが特に大事とNさんが言ってたような・・・?)

若いメンバーとまだまだやる気のベテランメンバーとの混在の相乗効果で、みんなのプレーのレベルはもっともっと伸びるでしょう！

※HLTCに興味を持たれた方、ご一報下さいね。



団体名/F T C 森の里

代表者/禰津 文

HP/<http://www2.odn.ne.jp/serve/>

部員数/男性 13 名・女性 26 名

活動拠点/F T C 森の里

コート数/砂入り人工芝コート 4 面



2016 年クラブ対抗

この度は、厚木市テニス協会創立 40 周年、心よりお祝い申し上げます。

F T C 森の里は、みなさんが試合でよく来られる、若宮テニスコートから、さらに坂を道なりに上り、森の里小学校を越え、森の里 3 丁目バス停を過ぎてすぐ左側にあります。

砂入り人工芝コートが 4 面あり、主にテニスレッスンとレンタルコートを運営しています。

厚木市テニス協会に登録している「F T C 森の里」は、F T C 森の里でレッスンを受講されている有志で作っている団体です。

10 年前、厚木市テニス協会 30 周年の 2006 年に、女性 23 名・男性 11 名・計 34 名で、団体登録させて頂きました。

私は、代表として 2010 年より窓口をしております。当時の登録人数は、男性女性併せて 83 名の大所帯でした。代表と申しまして、窓口になりたての頃は右も左も分からず、その前からの登録メンバーの方にいろいろ教えて頂きながら進めて参りました。

「幹事団体」「ドロー会議」「機材渡し」等、私ひとりの手には負えず、人手が必要な時は、みなさんに声を掛ければ、有志がさささと集まり、手助けして下さるので、これまで務めてくることができました。幹事団体運営日の協力体制は特に強固で、いつも素晴らしい手際で、切り盛りして下さいます。故障で、プレーすることができない方が、審判活動をなさる為に、所属されていたこともあります。テニスへの多様な携わり方に、共感してのことでした。

また、メンバーがレッスン生さんで構成されている為、同じクラス、同じ曜日以外の方とは顔を合わせる機会がありません。その為、年に 3～4 回、練習会を開催して、メンバー同士の友好を深めてきました。クラブ対抗や、チャンピオン大会では、レッスンクラスを越えたチーム・ペアで参加することもありました。

試合に出場することは、日程の調整から、もちろんテニスの練習、体調の管理と、日常生活を送りながら、週末に照準を合わせていくのですから、簡単ではありません。

それでも、勇気を持って、試合に参加されるみなさんに、いつも感銘を受けています。

また、毎年毎年、各大会を運営して下さい、協会のみなさまのご苦勞には、頭が下がります。

末筆ながら、厚木市テニス協会の、一層のご発展を祈念致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

H26 団体チャンピオン初日

団体名 ナイスショット
代表者 高野 宏
部員数 男17女16
活動拠点 厚木市など



当団体の H28 年度のメンバーは 33 名です。年齢の幅は 27 歳～69 歳で、年齢年代別では、20 代 2 名、以降 30 代～60 代では年代別に約 8 名ずつの分布です。

当団体の前身は「アクティブ」であり、2008 年からその一部のメンバーで「ナイスショット」として活動しています。以降、我々同様に「アクティブ」から分身した「ポテトチップス」の一部の方の合流や知人からの紹介で入会された方が居られ現在に至っています。そもそも新団体結成の理由は、前代表が急病になられ引き継ぎも出来ぬまま団体登録の時期を迎えたため急遽、連絡の取れるメンバーで結成したことです。従って、代表の私も(仮)でした。

活動としては、新結成当初から全員で集まっての練習や試合は基本的に行ってはおりませんでした。主な活動と最近の戦績には次のようなものがあります。

1) 協会の各種講習会への参加以外には、以下の個人戦績があります。

・ H27 年度市民大会成績 / 3 位まで

(女子) : シングルス B (3 位)、ダブルス A (3 位)、ダブルス C (優勝)

(男子) : ダブルス A (準優勝)

・ H27 年度女子連関連 (ダブルス)

第 17 回神奈川レディースヨネックストーナメント (優勝)

第 37 回全国レディース神奈川大会 (優勝)、全国大会 (ベスト 8)

2) 団体チャンピオン戦績 (注、H27 年度は 2 回戦敗退)

・ H26 年度大会 : コンソレ優勝 (名称/青色 LED) ・ ・ ・ 和気あいあい楽しく過ごせました。

3) 協会への大会運営協力と当団体への入会のご案内

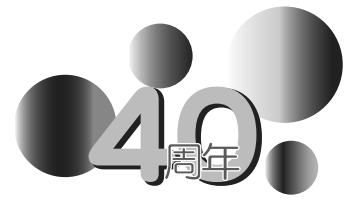
・ 大会運営のモットーは「選手のための大会運営」であり、その運営には自信があります。

・ 会員に運営担当をお願いするに当たり、最低でも 2 年に 1 回の担当を順次お願いして居ります。

大会の運営担当日は、協会との打ち合わせで決定されます。

試合を開催するには運営して頂く方の協力が必要です。多くの試合は休日ですが仕事で都合がつかない方も居られるでしょうが、ぜひ分担して運営にご協力をお願い致します。もしもお願いする場合は予め仕事の概要をお伝えしています。

なお、当会に入会を希望される場合は、このような団体の仕事を分担して頂けることが前提です。



団体名： T-MACH
 代表者： 加藤 邦昭
 部員数： 男 29名
 女 17名

クラブ紹介

私達T-MACHはTennis Masters And CHampions というコンセプトのもとに、元々は「球人（タマンチュ）」のメンバー数名により立ち上げられたチームです。

個々の環境で一生懸命に練習し、各種トーナメントで結果を出すべく情報等を共有するために団体戦等にも積極的に参加しています。

厚木市のトーナメントを中心に活動しており、皆さん活躍しています。

テニスを通じて沢山の皆様と楽しいお付き合いが出来ればと思います。

戦績

H22年度クラブ対抗戦優勝 県大会 1回戦（鎌倉宮カントリークラブ）

H23年度クラブ対抗戦優勝

H24年度クラブ対抗戦優勝 県大会 1回戦（横須賀ダイヤモンド）

H25年度クラブ対抗戦優勝 県大会 1回戦（横浜スポーツマンクラブ）

個人戦においても男女、シングルスダブルス、一般年齢別ともに厚木市及び近隣の市民大会上位入賞者多数。県大会、関東大会等で活躍しているメンバーもいます。



団体名 厚木HKF
 代表者 名取 裕子
 HP アドレス なし
 部員数 男 16 女 14
 活動拠点 厚木・愛川
 主な活動日時 日中
 コート数、1～3面



裕子ちゃん（代表）の誕生日

クラブ紹介

私達、厚木HKFの紹介を致します。

数年前、所属していたチームがなくなるとのことで、厚木HKFを作りました。HKFのHは名取裕子（ひろこ）のH。 Kは高橋紀美江（きみえ）のK。 Fはフレンドリーの意味です。神奈川県女子テニス連盟で、すでに「HKF」の団体名で出場していましたが、厚木で活動をするという事で、「厚木HKF」にしました。今現在、Fは元気でチームを盛り上げてくれる横松布美枝（ふみえ）のFと言う意味合いもあります。2016年9月、厚木HKFのチームメンバーは男性16名・女性14名（小学生2名 中学生1名）練習場所は、厚木・愛川の市町営コートで平日及び、土・日に行っています。

理事は石川 喬章君、神奈川県公認指導員の資格を取得して厚木市テニス協会・指導部の仕事を頑張ってくれています。そして練習コートの確保及びメンバーへの連絡やエントリーの取り纏めをしてくれる高橋紀美江さん。 テニスの技術力の高い厚木HKFのマスコット高橋真波さん。テニスを楽しみ技術も磨きそして、テニスだけではなくアフターの楽しい呑み会も、真波シェフの手料理で行っています。

代表としてこのチームを守って行きたいと思います。そして厚木市テニス協会と共に末長く皆で、健康に気をつけて楽しんで行こうと思っています。



厚木市民戦 皆頑張った



厚木市民戦打ち上げ

団体名 チーム チャレンジ
代表者 池田 裕一
部員数 男49人 女47人
活動拠点 市内公営コート
主な活動日時 火曜日ナイター



クラブ紹介

本厚木テニスクラブ(HTC)のテニス協会からの団体登録脱退に伴い、2010年度、協会登録しました。その後、市民テニス教室の生徒さんの『試合に出てみたい』方々、そして、LTCの団体登録脱退時の方々も加わり、総勢100名ほどの大人数の団体になりました。

現在、県公認指導員等が12名所属しており、厚木市体育協会主催のテニス教室の講師として、活躍していただいています。

また、所属年齢も上は70歳以上の方から、下は8歳の孫世代の3世代の登録者がおり、それぞれ現役で大会への参加をしています。

4年後の東京オリンピック、そして、10年後の厚木市テニス協会50周年時には、この小中学生達が、大会での主役になっている事を、夢見て、今後も全世代のテニスライフのサポートをしていける団体を目指したいと思います。

PLAY & STAY 親子キッズテニス教室



指導部 部長 荒木 貞男

事業 厚木市テニス協会 40 周年 PLAY & STAY 親子キッズテニス教室

日時、参加者 2016 年 6 月 12 日 (日)
午前 10:00-12:00 29 組
午後 13:30-15:30 22 組

場所 荻野運動公園テニスコート 4 面



対象 厚木市関係者の小学生 1 年生から 6 年生と保護者の方々



参加費 1 人 100 円 (親+子で 200 円)

主旨 子どもたちにテニスで遊んでもらって (PLAY)、
テニスを続けてもらえる (STAY) ための機会を提供する。

内容 PLAY & STAY の練習プログラムに沿った親子参加型のキッズテニス教室
キッズネットやレッドボールを使って、親子ラリーができることが目標



スタッフ 24名
 厚木市テニス協会役員（4名）
 厚木市テニス協会指導部（9名）
 厚木市テニス協会公認指導員（5名）
 厚木市テニス協会加盟団体員（5名）

講師 新井麻葵（あらいまき） ヨネックスプロ

挨拶 厚木市市長 小林常良



協力 井上直（ヨネックス株式会社）

主催 厚木市テニス協会

共催 神奈川県テニス協会

協力 株式会社ヨネックス

新井プロより 今日を機会にテニスを好きになってくれたらうれしいです。私も一所懸命テニスしてプロになりました。皆様の中から一所懸命練習してプロになってくれるといいなと思います。
 親御さんには、子どもの良いところを見つけてほめてあげてください。

ヨネックス井上様より テニスを好きになって、そしてできれば、ラケットはヨネックスを使ってくれたらうれしいです。（笑）



迫田理事長より 子どもの成長は早いです。これを機会にテニス continué、将来、この中から厚木市の大会に出ただけいたらと思います。



その他意見など 親子参加型のテニスはとても好評で JTA、県協会のサポートをもっとして欲しい。

良かった点 横断幕、ビデオカメラ購入、1 日保険加入など今後の協会活動に役立つ機材の購入および仕組みができた。

反省点 年齢別ではなく経験年数、ラリーできるかなどスキル別にコート割をした方が良かった。余裕を持って計画的に準備すべきだった

【所感】指導部部长：荒木貞男

当日はおかげさまで、お天気にも恵まれ、総勢約 120 名の参加者のもと、無事に開催することができました。もしかしたら、これは厚木市テニス協会 40 周年実行委員長である「晴れ男」小林さんの陰のチカラかもしれません。



最初、厚木市広報の掲載などが遅れたこともあり、人数が集まるかと肝を冷やしましたが、締め切り間際に応募ハガキが 10 通届き、募集人数に到達したときには、本当にホッといたしました。40 周年用の横断幕購入やビデオカメラ購入、1 日保険の加入など、準備がギリギリになったこと、スタッフの方が夜なべして名札を作ってくれたことなど、次回からの反省材料でもあり、みなさまのご協力は、本当に毎回ありがたいことです。

当日、初めて新井プロにお会いすると、モデルのような長身（私と同じ 178 センチ）で、思わず見とれしまいました。事前プロフィールを見ると、ジュニアレッスンはされていないかと思っていましたが、直接、お話を聞くと、毎週、キッズ教室を行っているとのことでしたので、とても頼もしく感じました。



スタッフのおかげで事前準備もスムーズに進み、いよいよ、レッスンが開始されました。まずは、ボールを使わずに、親子対面になって相手の動きをまねするゲーム、次に、ボールを使ったいろいろなキャッチボール、そして、キッズネットをはさんだ親子ラリーへと続きました。

昔のレッスンでは、まずは、ラケットの握り方、フォームなどが中心でしたが、PLAY & STAY では、その日にラリーができる事が目標なので、ラリーが続きやすいレッドボールを使い、ラケットの芯にあてることを主眼において、まずはラリーをするレッスン内容になっています。

(ちなみに厚木市テニス協会では、初心者子どもたちさらにラリーがさらに続くように、ビーチボールを使ったレッスンを行っています)



親子参加型のテニスはとても好評でした。特に、子どもたちが楽しそうにテニスをしている姿がとても印象的でした。ヨネックスの井上さんはとても頼もしいお兄さんで、子どもたちに負けないうらい一生懸命ラリーをしていただき、レッスンを盛り上げていただきました。

ヨネックス様のほうでジュニアラケット 60 本ご用意していただきましたので、子どもたち全員がラケットを使用することができ、本当に喜んでもらいました。また参加者の数が募集人数ぎりぎりになったおかげ(?)で、広々とスペースを使い、長い時間、ラリーをすることができました。帰りには、使用済みのレッドボールを、子どもたち一人ひとりにプレゼントしましたが、こちらもとても好評でした。

反省点としては、今回、年齢別にコート割をしましたが、レベル差があると初心者が気後れすることが多いので、レベル別にコート割をした方がよいように思われました。

今後、神奈川県テニス協会からも、PLAY & STAY の練習メニューの展開、講習会の開催などのサポートをしていただければ助かります。(日本テニス協会 アニュアルレポート 2016 参照)

別件ですが、熊本震災の募金のご協力ありがとうございます。おかげさまで、1 日で約 3000 円集めることができました。

最後になりますが、今回ご協力いただいた新井プロを始め、多くの方にご協力いただき、無事にこの事業を成功させることができましたことを深くお礼申し上げます。

みなさま、ありがとうございました。

記念イベント



記念イベント分科会 リーダー 橋本 満則

「広げようテニスの輪！ 楽しもうテニスを！」のスローガンのもとに、多くの市民の方や子供たちにテニス協会を広く知ってもらおうと考えて、イベント内容や募集要項を検討してきました。

平成 28 年 11 月 12 日(土) 好天に恵まれ、荻野運動公園テニスコートにて 40 周年記念イベントとして下記のイベントを行いました。イベントにはテニス協会の加盟団体だけでなく、多くの市民の方や子供たちの参加があり、大いに盛り上がりました。

開会式 (9:00~9:15)



①テニスレッスン

第1クール（9:15～10:45） 参加者：20名

第2クール（10:10～12:40） 参加者：30名

第3クール（13:30～15:00） 参加者：30名

各クール90分で、下記コーチによるテニスレッスンを行いました。

コーチ：元日本リーガー9名、AOP上位者選手4名

テニス人口拡大のため、厚木近隣地区の小学5年生以上なら、だれでも参加可能とし、なるべくたくさんの方に参加してもらえるように、3部構成としました。参加者がコーチと打ち合えるように、またコーチから直接アドバイスがもらえるようにしました。



□レッスンに参加された方からのコメント

「コーチから直に指導してもらってよく理解できた」、

「コーチと打ち合えて面白かった」、

「レッスン全体を通して楽しくテニスが出来た」

「とても楽しかったです」、

「またこういうイベントに参加したい」

②デモ試合

元日本リーガーVS AOP 上位者選手の対戦を行い、レベルの高い試合を観戦しました。

・デモ試合1（10:45～11:10）

内田傑之(リコー)・濱村文久(NTT 東日本)VS 佐藤明(ナイスショット)・兼田由紀夫(ソニー厚木)

結果：5-0（25分打切り）

・デモ試合2（12:40～13:05）

神出雄(リコー)・小田切祐二(リコー)VS 本庄 利守(NTT R&D)・成田一平(富士通厚木)

結果：1-5（25分打切り）

・デモ試合3（13:05～13:30）

松岡聖直(リコー)・糸賀愛(リコー)VS 前田博之(リコー)・滝友彦(リコー)

結果：4-2（25分打切り）

③親子テニス

小学1年から4年までのお子さんとその保護者が対象で、親子で楽しくテニスをして絆を深めてもらいました。始めてラケットを持つお子さんもいて、テニスの楽しさを広められたと思います。テニスへの関心が高く、12組の定員に対し21組(42名)の親子が参加しました。



④スマートテニスセンサー体験

ソニー製のスマートテニスセンサーを使用して、計測したデータとフォームの動画を参加者のスマホに取り込んで持ち帰ってもらいました。フォアハンド、バックハンド、サーブの各データの内容が、自分のイメージと違うことに驚いていました。午前：14名、午後：15名の参加者がありました。

⑤スピードガンコンテスト

男女別にサーブの最高速度（フォルトは参考記録）を競うイベントを行いました。男女各1～3位の方には表彰状と賞品が渡されました。その他、ピタリ賞やじゃんけん大会で賞品をゲットした方もいました。当日自由参加で、延べ約60名の参加がありました。

※賞品はイベントスタッフから寄付していただきました。



⑥ターゲットテニス

1～9の的（ストラックアウト風）に向かってレッドボールをラケットで打って狙うイベントを実施しました。当てた数により賞品がいろいろあり、当日自由参加で延べ106名の方が参加しました。また、参加者全員に参加賞が配られました。

※ターゲットの機材は宮の里TCから、賞品はイベントスタッフから寄付していただきました。



⑦ミラクルテニス体験

自分ひとりでテニスの練習ができる体験コーナーを壁打ちコートに設置しました。思い切り打ってもゆっくりした球が返ってくるので、何球でも続けて練習ができると評判でした。

⑧テニスショップのグッズ展示即売会

T-houseさんの協力でグッズ展示・販売、試打ラケット貸し出し、ワンコイン500円張替サービスを実施しました。GOSEN認定ストリンガー「張人」による張替サービスは人気で、時間を延長して張替をしていただきました。

⑨あゆコロちゃん

- ・開会式、親子テニス終了時、各レッスン開始時に登場しました。
あゆコロちゃんは子供たちに大人気で、こぞって写真撮影をしていました。



謝辞

記念式典パーティとの同日開催だったので、9:00～15:00 と短い時間の中、すべてのイベントが盛り上がり行うことが出来たのも、実行委員の方々の事前の準備やリハーサル、当日スタッフの協力があったからこそだと思います。また、昼食の時間を惜しんでレッスンをしてくださった元日本リーガーの皆さん、AOP 上位者選手の皆さん、ありがとうございました。

式典・パーティー



式典・パーティー分科会

平成 28 年 11 月 12 日（土）午後 6 時より、厚木市テニス協会の創立 40 周年記念式典・パーティー（以下、式典・パーティーと略す。）がレンブラントホテル「相模の間」で開催されました。

式典・パーティーは「広げよう テニスの輪を！ 楽しもう テニスを！」という 40 周年記念事業のスローガンのもと、ご来賓、受彰者そして、登録団体会員、理事など、総勢 150 名弱の出席者があり、盛大に行われました。出席された方々はこの式典・パーティーを大いにエンジョイされ、テニスの輪をさらに広げられたことと思います。

それでは式典・パーティーの様様を下記の式次第に沿って、スクープします。

厚木市テニス協会40周年
記念式典パーティー
平成28年11月12日(土)
於レンブラントホテル
18:00~20:00

厚木市テニス協会40周年式典・パーティー分科会
<http://www.atsugi-tennis.jp/>

(表彰者名簿)

厚木市テニス協会40周年式典式次第

<p>18:02 会長挨拶</p> <p>18:05 来賓祝辞</p> <p>18:10 来賓者紹介</p> <p>18:15 乾杯 歓談</p> <p>ゲストスピーチ 抽選会①</p> <p>18:45 表彰</p> <p>感謝状贈呈、功勞者表彰、優秀選手表彰</p> <p>19:15 歓談 写真上映 祝電披露</p> <p>19:25 記念誌紹介</p> <p>19:30 抽選会②</p> <p>19:55 閉会の言葉</p> <p>20:00 閉会</p>	<p>(最優秀選手) 武田正典(富士通厚木)</p> <p>(優秀選手) 高橋真哉(厚木三三)</p> <p>(優勝) 藤本順三(森の里)</p> <p>門田隆(新厚木)</p> <p>橋本 匠(新厚木)</p> <p>名取 裕文(厚木三三)</p> <p>(功勞者) 山本直樹(プレスト)</p> <p>石井正弘(厚木市役所)</p> <p>奥津 幸人(日産テニ)</p> <p>高橋 隆(厚木国際)</p> <p>清水 正敏(サン)</p> <p>高橋 紀美江(厚木三三)</p> <p>須藤 文男(富士通厚木)</p> <p>高橋 克典(宮の里)</p> <p>川口 泰志(宮の里)</p> <p>松浦 修(アプローズ)</p> <p>山下 昭男(アプローズ)</p> <p>山本 洋二(アプローズ)</p> <p>(功勞者) 野口 啓生</p> <p>永原 三代子</p> <p>小松 英子</p> <p>田村 義男</p> <p>(特別表彰) 宝剣賞グループスポーツ</p> <p>マーケティング</p> <p>ヨネックス(株)</p> <p>大田 茂</p> <p>佐藤 裕哉</p> <p>神奈川県総合</p> <p>ソニー(株) テニションセンター</p> <p>厚木市テニス協会(株)</p> <p>日産自動車(株)</p> <p>テクニカルセンター</p> <p>厚木国際(株)</p> <p>(特別表彰) 青山 修子</p> <p>(賞状略)</p>
---	--

以上

40 周年記念式典・パーティー式次第

◆ 山下新会長の挨拶で式典・パーティーが開会しました。



山下新会長は、厚木市テニス協会の沿革を交えた挨拶で、厚木市体育協会、神奈川県テニス協会、近隣の市町村テニス協会そして、登録団体、理事および、役員の皆様のご支援、ご協力により今の協会が存続している

ことに感謝の意を示され、予定 3 分を超過しての熱の入った挨拶となりました。

◆ 小林厚木市長と神奈川県テニス協会の山田会長より祝辞を頂きました。

当協会の顧問でもある小林厚木市長からは、厚木市テニス協会の運営について、厚木市体育協会に登録されている団体で組織として、民主的で透明性の高い協会であると、ありがたいお言葉を頂きました。



檀上のあゆコロちゃんは静かに祝辞に聞き入っておりました。

また、山田会長からは神奈川県テニス協会の事業への協力に感謝の言葉を頂きました。そして、厚木市テニス協会がさらに発展することを期待され、引き続き、県テニス協会への協力を要望されました。



◆ 神奈川県テニス協会の日下理事長の音頭で乾杯！

30周年では表彰式が終わってから乾杯となったために、50分以上も待ち惚けとなった反省を受けて、40周年では開会后、15分以内に乾杯をしたいというスタッフの要望で、今回は表彰式の前に乾杯をして、皆様の喉を潤し、空腹を少しでも解消することとしました。神奈川県テニス協会の日下理事長の「乾杯」のご発声により、出席者は元気よく御唱和され、パーティーが始まりました。



◆ 佐藤哲哉プロとリコーの前田博之様のゲストスピーチ。



乾杯の後ということもあり、多少、賑やかではありましたが、佐藤プロと当協会との関わりと今後のテニスに対する思いを話されました。



飛び入りでゲストスピーチして頂いたリコーの前田さんはイベント会場から直接、式典・パーティーに出席された為、リコーのテニスウェアでの挨拶となりました。

本日の記念イベントに現役の日本リーガーが参加できなかったお詫びとリコーテニス部の紹介をされました。日本リーグでの活躍を力強く宣言され、応援を宜しくとのことでした。

◆ 表彰式が行われました。



冒頭、表彰選考委員会の幹事長を務めて頂いた森の里 TC の花田会長から表彰選考委員会の構成と表彰対象者の選考は公平且つ、厳正に行われた旨の報告があり、感謝状、功労賞、優秀選手賞そして、最優秀選手賞の順で表彰が行われました。表彰を受けた方々は以下の通りです。

感謝状を受賞された方々

佐藤哲也プロ
スポーツメーカ 2 社
コート提供企業 3 社
1 団体



功労賞を受賞された方々



団体推薦者 13 名

協会推薦者 4 名（写真がなく、申し訳ありません）



審判委員グループ



優秀選手として

藤本順三さん、柄沢庄一さん、
名取裕子さん、門田隆さんの 4 名
の方が表彰されました。



女性の最優秀選手に選ばれた高橋真波
さんはインタビューで「家族やチームの
メンバーに感謝しています。これからも
頑張って行きます。」と感謝の気持ちと
今後の抱負を話されていた。

男子の最優秀選手に選ばれた成田正彦さんは都合により、欠席されましたが息子の一平さんが代役をされました。インタビューでは「本日は父の代理でここにはいますが、次は自分が最優秀選手に選ばれる様に頑張ります。」と今後の意気込みを力強く話されていた。



◆ 抽選会が盛り上がりました。

今回の景品は貰って、「嬉しい」と喜ばれるものを用意しようとスタッフから色々な提案があり、その中から地元の特産物や大会無料券そして、ウンブルドンライクなタオルを用意した。また、多くの出席者に景品が渡る様に色々工夫をして、数多く用意しましたので、抽選会は2回に分けて行いました。

2回目の抽選会に際しては最優秀選手で表彰を受けた高橋さんにご協力を頂き、楽しく行われました。



40周年記念式典・パーティーの抽選会の景品

今回の目玉景品は、JTAの旅行券とレンブラントホテルから提供して頂いた2枚の食事券でした。最後の抽選となりました旅行券は1回目の抽選で該当者が現れず、再抽選の結果、森の里TCの魚川さんがものにされました。



◆ 小林実行委員長の「閉会の言葉」で式典・パーティーが閉会となりました。



出席して頂いた皆様への謝辞と今後の協会の発展と50周年に向けてのご協力をお願いして、閉会となりました。

謝辞

最後に式典・パーティー分科会に関わって頂いた団体推薦でご協力頂いた方々、協会OBの方々そして、理事の方々に心より感謝申し上げます。反省点は多々ありますが、会合やりハーサルが十分出来ず、皆様には当日まで不安や心配をお掛け致しました。当日、神崎様のご指導でリハーサルができ、本番を迎えられたことが未経験のスタッフにとっては希望の光が灯った様でした。

司会進行をして頂いた神崎さん、笹谷さん、お疲れ様でした。飲めず、食えずの司会進行となり、大変だったと思いますが、御蔭様で楽しい会となり、人の輪が広がった様に思います。それから、「あゆコロちゃん」に扮して、会場を盛り上げて頂いた記念イベントのスタッフの方々のご協力に心より感謝致します。みんなで作り上げた式典・パーティーとなりました。皆様、ありがとうございました。

編集後記

厚木市テニス協会 40周年記念誌を皆様にお届けできることを光栄に思います。 記念誌の作成に当たっては、多くの方々にご協力を頂きました。 特に、祝辞、寄稿文を執筆頂いた皆様、加盟団体紹介を執筆頂いた皆様、ありがとうございました。

今回の記念誌は、「実際に読まれる記念誌を作りたい」ということで、オンライン（ホームページ上）での記念誌をメインに作成を進めて参りました。多くの方々に閲覧頂き、10年間に懐かしく振り返って頂くと共に、各加盟団体間の交流に繋げて頂ければと考えております。

最後に、50周年に向けて「広げようテニスの輪！楽しもうテニスを！」をモットーに厚木市におけるテニス活動がさらに発展することを祈念して、編集後記とさせていただきます。

記念誌 分科会 本庄

記念誌 分科会メンバー

本庄 利守 (NTT R&D)	石井 絵美 (新厚木TC)	小林 英一 (リハビリ)
菊池 順裕 (NTT R&D)	清水 正敏 (サンTC)	荻野 晃代 (チャンスTC)
下坂 英夫 (日立厚木)	風間 拓志 (NTT R&D)	菊地 均 (宮の里TC)
小松 英子 (新厚木TC)	松崎 英昭 (NTT R&D)	鈴木 昇 (リコー)
高橋 直 (宮の里TC)		

■記念誌のホームページ公開版のご案内■

本冊子に盛り込めなかった内容も含め、記念誌のオンライン版を以下の URL にて公開しております。

http://www.atsugi-tennis.jp/40th_kinen/kinenshi/wp/



厚木市テニス協会
40周年 記念誌
広げようテニスの輪！楽しもうテニスを！

0. 発行にあたって(編集長)
1. ごあいさつ(会長)
2. 祝辞
3. 巻頭言
4. 加盟団体紹介
5. 40周年記念事業
6. 厚木市テニス協会の沿革
7. 厚木市テニス協会の歴史
8. 大会記録(記録と年表)(表)
9. 大会記録(記録と年表)(裏)
10. ショップに贈るお礼状(お礼状)
11. 10年史
12. 編集後記

厚木市テニス協会 40周年 記念誌



厚木市テニス協会 40周年記念誌

発行日 平成29年1月

編集・発行 厚木市テニス協会

印刷所 株式会社アイワ